

12月 理事会団交報付日

12/21

12月17日、我々は學體館裏室に運動部の学生を召集し、理事会開催を告げて、懇親会を行つた。ここでまず確認しなければならないことは、この物理事務官会は我々が自らの力で始めて生み勝った組織であるということ。12月16日本校で行なった講演会で、我々が自らの力で主導的役割をもつて開催できることとは自らが自らの力で主導的役割をもつて開催したことである。何よりも印象が強かっただけで、その通りに争うべき争いの勝利は終始我々のへやで、二つの懇親会を行つた。我々は次の2点を要求した。第一として理事長を選出していく。二つめとして理事会は具体的にどのように責任性をもつて行動するか。これらに対して理事会は具体的にどのように責任性をもつて行動するか。我々は二つに對して断固而強く要求する。

物理事務官会は農場部会編成に基づいた校園一六年と一方的に九回の席にしたのはいかなる原因からかのようにならしたのか。

物理事務官会は農場部会編成に基づいた校園一六年と一方的に九回の席にしたのはいかなる原因からかのようにならしたのか。

12月17日、我々は常識論議會にて正則的立場の會友を結果し理事會に立ちて懇意会にてます。確認しなければならぬことは、この内理事會員は我々から自らの力で始めて生活勝つたに因るであるということ。12月16日午後まで行なった學業の問題の開口以来、我々が常に前進意識をもつてはいるが、それが何よりの力で主體的に問題を立ち上げるが如き我々の斗争はいかなる形の問題も抱かなければいいし又争うの勝利はあり得ないといふことを認める。この度は再び闘争から当日の問題は終始我々の手で運営された。我々は次の2点を要求したとして理事會を追出していった。(1)理事會は農學生徒から提出された過去の用文要點を時には正式な文書の形でせす(2)理事會は農學生徒に於ける實質的な地位とその権利を要求する。

つまり理事局の回路は、農業問題は主に農業部の整理局と営農課が話し合って解決しての仕組みで解决でえない問題は理事局と話し易いので、そして、官能事務は官能課を重視する。ところが、こうでない所である。ここで我々かへ、さり確認しはれれば、むろん、いつこどモタ農業問題と教養問題は五月三日の田舎者らには大同日食堂前会場で行なわれた。統一農業問題でもあらわかなうに其に理事事務に向けてやうんだといふことを確認した。そして大同二年四月には田舎者らに理農問題と要求するといふことと两者ではさり確認していく。こういう過去の事実を、何と云ても明かかずつに我々農業問題と教養問題は話し易いことは誰も説いていた。いろいろ考へる後、僕は、田舎者らの件はどういふ事かは本筋に一致していけるのではないか。

しきその学園的公認の思想でしかこの問題を考えていなければいけないことが明らかになった。そこで中野自治運動においては農林部教授会が四十一年度に再編の保障として一大の組織の役割を發揮したにもかかわらず農林部教授会とのかたわらから農林部教員会とのけむらは西十二年度の学年次では、農林部教員会は外見者を出さないといふことと深めてむづくめり各地区の平野と山形で農林部の学生を地元としての教育を行つてゐるところによつて、ある時は農林部教員会の圧力をかけられた教育的困难をもつて我々に対応していかるのである。このような理事局は自己の利益のみを追求し反教育的反社会的本質的暴力的理窟局であつて我々はこの依然として明大に力がかり理事局を存続せしむことは絶対的力でねむづい。年後三月に始つたに因てはこのような回答もやはりほんの回答を無能的に喝叱するの内にはつづいていたので、過去の本部運営をえらひにかみの場の学生对策で改善を図るの企ての理事局により18日午前6時頃に到りかゝる原目を開示するにむかく決裂したのである。この責任は必ずして理事局にありとこで出席者全員同の一致するところである。

我々はこのような反教的、反学生的、非人道的、暴力的理學的の姿勢を我々の理論と定義して断固封殺しえばいいわけない。

自らの力で後期保障を勝とろつ  
理事会に委託を断固粉碎り